

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	高砂工場実証設備複合サイクル発電施設	階数	地上2階
建設地	兵庫県高砂市荒井町新浜2丁目1番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2020年6月 0.0	評価の実施日	2018年6月4日
敷地面積	1,026,848 m ²	作成者	竹下 明
建築面積	2,549 m ²	確認日	2018年6月5日
延床面積	3,109 m ²	確認者	丸尾 和

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.0

音環境: 1.5, 温熱環境: 1.6, 光・視環境: 1.8, 空気質環境: 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性: 1.3, 耐用性: 2.9, 対応性: 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性・: 1.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

建物外皮の: N.A., 自然エネ: N.A., 設備システ: N.A., 効率的: 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.8, 汚染物質: 4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

地球温暖化: N.A., 地域環境: 2.0, 周辺環境: 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
新たに開発するガスタービンの容量に合わせて、設備の全面更新を計画しました。	0
Q1 室内環境 遮音性を考慮して外装材は穴あきPC板を採用した。	Q2 サービス性能 電気設備においては、非常用電源設備等信頼性に配慮した。荷重としては、将来機器を想定して、積載荷重を考慮した。
Q3 室外環境(敷地内) 製作所内の南東に位置し、隣接する建物も工場群であり、外部への影響がほとんどないため、特別な配慮はしていないが、光公害を考慮し、既存の建物と同様な外壁を淡いブルー系の色彩にした。	LR1 エネルギー 0
LR2 資源・マテリアル 特別資源再利用を積極的に行っていないが、消火剤についてはハロン消火剤を使用しないなどの配慮を行った。	LR3 敷地外環境 環境影響評価にて大気、騒音、振動などの配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される